

共通参照レベル：自己評価表

		A1	A2	B1	B2	C1	C2
理解すること	聞くこと	はっきりとゆっくりと話しても られれば、自分、家族、すぐ周 りの具体的なものに関する聞き慣 れた語やごく基本的な表現を聞き 取れる。	(ごく基本的な個人や家族の情報、買 い物、近所、仕事などの) 直接自分に関 連した領域で最も頻繁に使われる語彙や 表現を理解することができる。 短い、はっきりとした簡単なメッセ ージやアナウンスの要点を聞き取れる。	仕事、学校、娯楽で普段出合うような身近 な話題について、明瞭で標準的な話し方の 会話なら要点を理解することができる。 話し方が比較的ゆっくり、はっきりとして いるなら、時事問題や、個人的もしくは仕 事上の話題についても、ラジオやテレビ番 組の要点を理解することができる。	長い会話や講義を理解することができ る。また、もし話題がある程度身近な範 囲であれば、議論の流れが複雑であつて も理解できる。 たいていのテレビのニュースや時事問 題の番組もわかる。 標準語の映画なら大部分は理解できる。	たとえ構成がはっきりしなくて、関係性 が暗示されているにすぎず、明示的でな い場合でも、長い話が理解できる。 特別の努力なしにテレビ番組や映画を 理解できる。	生であれ、放送されたものであれ、 母語話者の速いスピードで話されて も、その話し方の癖に慣れる時間の 余裕があれば、どんな種類の話しこ とばも、難無く理解できる。
	読むこと	たとえば、掲示やポスター、カタ ログの中をよく知っている名前、 単語、単純な文を理解できる。	ごく短い簡単なテキストなら理解でき る。 広告や内容紹介のパンフレット、メニ ュー、予定表のようなものの中から日常 の単純な具体的に予測がつく情報を取り 出せる。 簡単に短い個人的な手紙は理解できる。	非常によく使われる日常言語や、自分の仕 事関連の言葉で書かれたテキストなら理解 できる。 起こったこと、感情、希望が表現されて いる私信を理解できる。	筆者の姿勢や視点が出ている現代の問 題についての記事や報告が読める。 現代文学の散文は読める。	長い複雑な事実に基づくテキストや文 学テキストを、文体の違いを確認しなが ら理解できる。 自分の関連外の分野での専門の記事も 長い技術的説明書も理解できる。	抽象的で、構造的にも言語的にも複 雑な、たとえばマニュアルや専門的 記事、文学作品のテキストなど、事 実上あらゆる形式で書かれたことば を容易に読むことができる。
話すこと	やり取り	相手がゆっくり話し、繰り返したり、 言い換えたりしてくれて、また 自分が言いたいことを表現する のに助け船を出してくれるなら、 簡単なやり取りをすることができる。 直接必要なことやごく身近な話 題についての簡単な質問なら、聞 いたり答えたりできる。	単純な日常の仕事の中で、情報の直接の やり取りが必要ならば、身近な話題や活 動について話し合いができる。 通常は会話を続けていくだけの理解力 はないのだが、短い社交的なやり取りを することはできる。	当該言語圏の旅行中に最も起こりやすい たいていの状況に対処することができる。 たとえば、家族や趣味、仕事、旅行、最近 の出来事など、日常生活に直接関係のある ことや個人的な関心事について、準備なし で会話に入ることができる。	流暢に自然に会話をすることができ、母 語話者と普通にやり取りができる。 身近なコンテキストの議論に積極的に 参加し、自分の意見を説明し、弁明でき る。	ことばをことさら探さずに流暢に自然 に自己表現ができる。 社会上、仕事上の目的に合ったことば遣 いが、意のままに効果的にできる。自分 の考えや意見を正確に表現でき、自分の 発言を上手に他の話し手の発言に合わ せることができる。	慣用表現、口語体表現をよく知って いて、いかなる会話や議論でも努力 しないで加わることができる 自分を流暢に表現し、詳細に細かい 意味のニュアンスを伝えることがで きる。 表現上の困難に出会っても、周りの 人がそれにほとんど気がつかないほ どに修正し、うまく繕うことができ る。
	表現	どこに住んでいるか、また、知っ ている人たちについて、簡単な語 句や文を使って表現できる。	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職 歴を簡単なことばで一連の語句や文を 使って説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験 や出来事、夢や希望、野心を語ることが できる。 意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示 すことができる。 物語を語ったり、本や映画のあらすじを話 し、またそれに対する感想・考えを表現で きる。	自分の興味関心のある分野に関連する 限り、幅広い話題について、明瞭で詳細 な説明をすることができる。 時事問題について、いろいろな可能性の 長所、短所を示して自己の見方を説明で きる。	複雑な話題を、派生的話題にも立ち入っ て、詳しく論ずることができ、一定の観 点を展開しながら、適切な結論でまとめ 上げることができる。	状況にあった文体で、はっきりとす らすらと流暢に記述や論述ができ る。効果的な論理構成によって聞き 手に重要点を把握させ、記憶にとど めさせることができる。
書くこと	書くこと	新年の挨拶など短い簡単な葉書 を書くことができる。たとえばホ テルの宿帳に名前、国籍や住所と いった個人のデータを書き込む ことができる。	直接必要のある領域での事柄なら簡単 に短いメモやメッセージを書くことが できる。 短い個人的な手紙なら書くことができ る：たとえば礼状など。	身近で個人的に関心のある話題について、 つながりのあるテキストを書くことが できる。私信で経験や印象を書くことが できる。	興味関心のある分野内なら、幅広くい ろんな話題について、明瞭で詳細な説明 文を書くことができる。 エッセイやレポートで情報を伝え、一定 の視点に対する支持や反対の理由を書 くことができる。 手紙の中で、事件や体験について自分に とっての意義を中心に書くことが できる。	適当な長さでいくつかの視点を示して、 明瞭な構成で自己表現ができる。 自分が重要だと思ふ点を強調しながら、 手紙やエッセイ、レポートで複雑な主題 を扱うことができる。読者を念頭に置 いて適切な文体を選択できる。	明瞭な、流暢な文章を適切な文体で 書くことができる。 効果的な論理構造で事情を説明し、 その重要点を読み手に気づかせ、記 憶にとどめさせるように、複雑な内 容の手紙、レポート、記事を書くこ とができる。 仕事や文学作品の概要や評を書くこ とができる。

参考資料

Council of Europe (2008) 『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』初版第二刷、吉島茂、大橋理枝(訳、編)、朝日出版社